

# 漏れ検査工程での真空用途ご提案

## ● 漏れ検査とは

密閉性が必要になる容器や機械の気密性を確認する方法で、水につける方法や圧縮空気を入れて石鹼水をつけ漏れ箇所を見つける方法などありますが、特に真空ポンプを使用する方法はより精度の高い漏れ量の測定ができるため、広く利用されています。

様々な製品に **漏れ検査** は必要とされています。

燃料タンク

ラジエータ

Liイオン電池

マニホールド

配管

油圧・空圧機器

エアコン

輸液パック

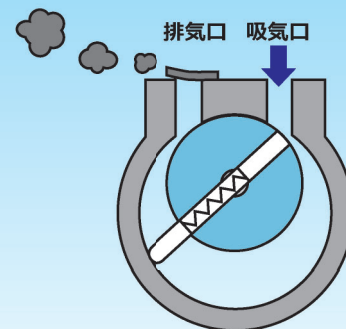


## こんな課題があります

### 油回転ポンプ運転時の油煙による作業環境汚染・油の消費

油回転式真空ポンプは内部に油が充填されています。イニシャルコストが低く非常に優れているポンプですが、排気口からの油煙により、作業環境を汚染してしまいます。また、突然のポンプ停止時に真空容器へ油の逆流が発生することがあります。さらに運転時に油を排出するため、定期的な給油・交換作業が必要です。

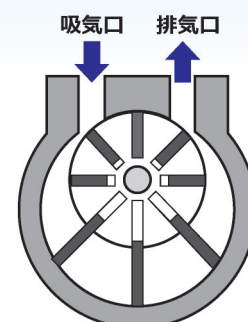
油回転式真空ポンプの構造



### ドライベーンポンプ使用時は真空度、音、メンテナンスサイクルの問題

ドライ式のドライベーンが使用される場合は真空度が低く、精度の高い漏れ検査はできません。また、運転時の音が大きく高温になるため、作業環境の悪化を招き、ベーンの定期的な交換が必要になりランニングコストが高くなります。

ドライベーン真空ポンプの構造



高温注意



こんな解決策があります

# オイルフリースクロール真空ポンプに 置き換えてみましょう！

● オイルフリースクロール真空ポンプ  
DVSL・GVS・ISP シリーズ



## 油回転式真空ポンプ<sup>o</sup>運転時の油煙 による作業環境汚染・油の消費

油を使用していないオイルフリー真空ポンプなので、油煙の発生はありません。  
また、給油作業から解放されるので保守点検の**作業費・部品費の削減**に貢献します。

## スクロール真空ポンプならではの 高真空

他のオイルフリーポンプでは実現できない真空度を、アネスト岩田のスクロール真空ポンプなら実現可能です。到達圧力 1 Pa 以下も対応いたします。

## タフでメンテナンスサイクルが長い

通常の使用状態であればメンテナンスは1年毎（24時間運転の場合）です。このクラスのドライポンプでは、トップクラスのメンテナンスサイクルの長さを誇ります。また、通常時の面倒な油の冷却水の点検などは不要です。

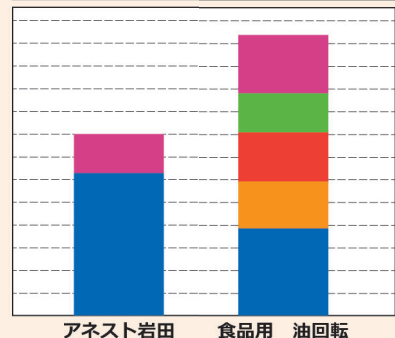
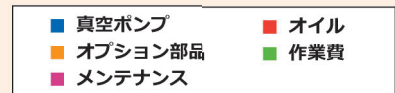
### コスト比較例

500L/min クラスのポンプを  
1日8時間3年間使用した場合  
これだけのコストメリットがあります。

**油代だけでも3年間で  
約11万円!!**

この費用がありません!

※油の交換頻度は、  
**給油** 週1回、**交換** 月1回として  
計算しています。



お問い合わせは

札幌駐在所 TEL (011)831-6141 FAX (011)831-6144 関東支店 TEL (045)595-3660 FAX (045)595-3661 関西支店 TEL (06)6458-5971 FAX (06)6458-5978  
東北営業所 TEL (022)284-1257 FAX (022)208-5930 中部支店 TEL (052)412-3221 FAX (052)412-3229 福岡営業所 TEL (092)433-1085 FAX (092)433-1103  
北関東支店 TEL (0480)96-7001 FAX (0480)96-7003

**アネスト岩田株式会社**

〒223-8501 神奈川県横浜市港北区新吉田町 3176  
お客様相談室 0120-917-144 (フリーダイヤル)  
ホームページ <http://www.anest-iwata.co.jp/>